

V 戦士

徳島県バレーボール協会中学校専門部 秋季44号

知ってるつもり!? 新(?)バレーボール用語

2015年8月から、ワールドカップが開催されています。ちょうど、東京に行く用事もあったので、代々木競技場に行くと15時には何とチケットは完売。確かに、TVで視ていると観客席は人でいっぱい。バレーボールも捨てたものではないと感じたものでした。

ところで、テレビで試合を見ている時に、アナウンサーや解説者の方が、「レセプション」「ディグ」と言ったりしていますが、「レセプションって何?」と疑問に感じている方もいると思います。

改めて、バレーボール用語について解説します。

【レセプション】

簡単にいうとサーブレシーブのことで、日本ではあまり浸透していませんが、海外ではよく使われています。日本では、これまで解説者や雑誌などがレセプションという言葉あまり使わないためレセプションが浸透しなかったのだと考えられます。どちらかというと「サーブレシーブ」「サーブカット」「カット」という言葉がなじんでいるようにも思います。

【ディグ】

サーブレシーブをレセプションと呼ぶのに対して、スパイクレシーブはディグと呼ばれます。通常のレシーブとは異なり、より低い姿勢においてレシーブをします。見た目から“穴を掘る動作に似ている”という意味でこの言葉になっているようです。英語で dig の意味として、掘るという和訳も出てきます。

【リードブロック】

相手がトスを上げてスパイカーに合わせて跳ぶブロックです。トスが上がるのを確認してから跳ぶため、確実性は高いですが、トスからスパイクがのスピードが速すぎると対応が遅れてしまうことがあります。

【コミットブロック】

相手のトスが上がる前にスパイカーの動きを予測して跳ぶブロックです。ヤマを張って跳ぶことになります。速攻に対応できるブロックでもあります。

【ワン・レグ攻撃】

アタッカーが片足踏み切りでジャンプ（ワン・レグ・ジャンプ）をして、体がネットに平行に流れながら（スライドしながら）打つアタック＝ブロード攻撃のことです。簡単に、「ワン・レグ」といったりしています。

【オポジット】

スーパーエースのことで、オポジットは、主にセッターの対角に入ります。チームの得点源となる攻撃の要のポジションです。後衛にいる時は、サブカットに加わずに、バックアタックに専念をする攻撃的なポジションです。

【ウイングスパイカー】

攻撃の要であり、攻撃力の優れた選手に対してはしばしば『大砲』『エース』と呼ばれる。狭義では、レフトおよびライトからスパイクする選手をウイングスパイカー（WS）といい、レフトからのみスパイクする選手は、アウトサイドヒッター（OH）といいます。

【ミドルブロッカー】

センタープレーヤーのことで、主にブロックを行うという役割上、背の高い選手が多く、攻撃の時はクイック攻撃（速攻）を行うことが多いポジションです。

その他、たくさんの用語について調べていきたいと思えます。

徳島県バレーボール協会 常務理事

徳島県ヤングバレーボールクラブ連盟 理事長

高橋利明 筆

※用語につきましては多くのHPより引用させていただきました。